人妻スパイとマフィアの息子2

失礼いたします

ガチャ・・
カラカラカラ・・

誰だこいつ

ピコッ
ピコッ
ピコピコッ

あれ……ご飯なんて頼んだっけ
ピコッ
ピコッ
ピコピコッ
ルームサービスでございます
あっそう…
失礼ですがお一人様でしょうか？
うん…でもさっきまでパパとママがいたんだ
ピコッ
ピコッ

くそ…
勘づかれたか

これで護衛が
見当たらない
理由がわかったな
いったん出直そう

パパもママも
酷いよねえ

ボクお昼寝
してたんだけど
起きたら誰も
いないんだ

ピコッ

ピコッ

ふつう 子供置いて
家に帰らないよねー

そうでしたか
それでは
失礼いたします

うん
バイバーイ

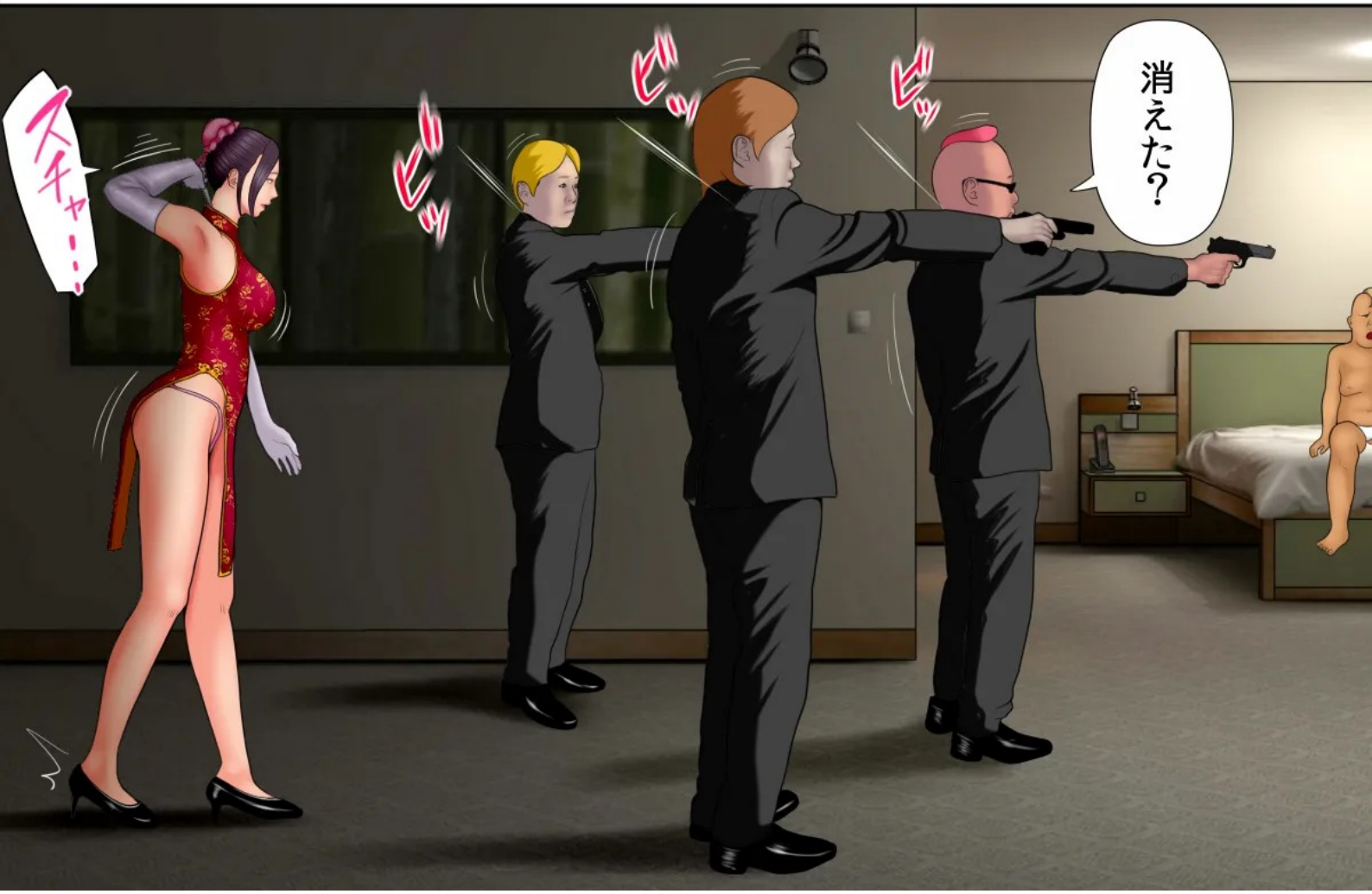
後ろぉ！

パシッ
ブッ

ドサッ!!
まだいるぞ！
これは罠だっ
スッ
わかってるってば……怒鳴らないで
おいおいつえーぞこの女！
しかもエローい
殺すのは惜しいけど…
ぞろ
ぞろ

あれ？

パ
ン
ッ


消えた？
ビッ
ビッ
ビッ
スチャ！！

なーんだ
もう終わり？
つまんないわね

かっけええ……！

ぐりっ

ドサッ

ドッ

ド…

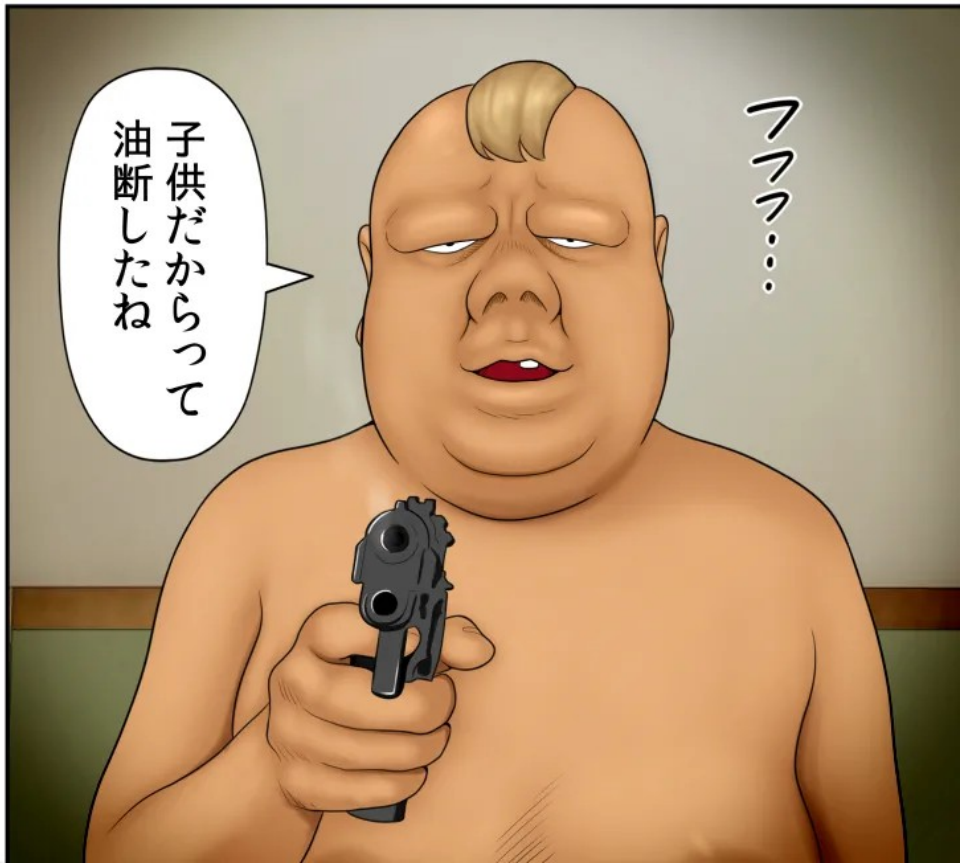
かっ…

好き

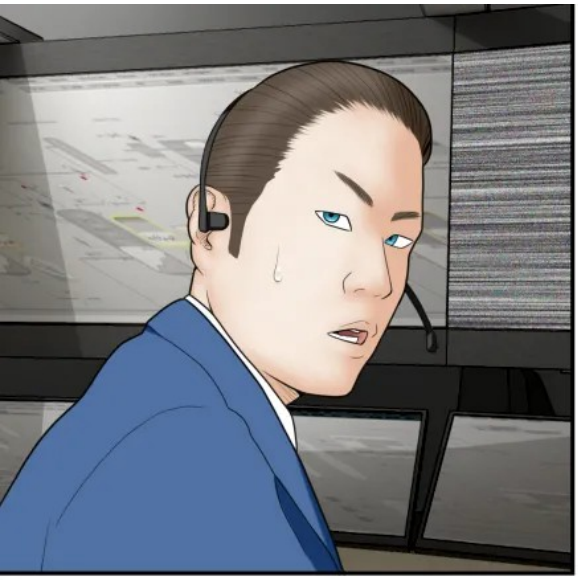
安心しろ
子供を殺す
趣味はない
ただし…
今日あった事を
誰かに話したら
命の保証はない

パーンッ

うっ……
きっきさま…
おばさんさぁ…
よろっ
よろっ


フフフ…
子供だからって
油断したね

これでもボク…マフィアの息子舐めてもらっちゃ困るんだよねぇ
チッ チッ
りっ…律子？おいっ……
おいっ律子…！
安心してただの麻酔銃だから
くっ…そ…
あっ…ああ……
ふらっ
よろっ
すごい…！普通はすぐ気絶するのにっ
そういう訓練を受けてるんだね
ハァ
ハァ
ハァ



こんな女初めてだよ
くそっ早く殺せって！
殺してどうする

それよりも麻薬の入手経路や人身売買に関する情報を手に入れる方が重要だ
ドンの息子なら様々な情報を知ってるはずだ

女の武器を使って犯罪に関するあらゆる情報を聞き出せ…
今回は敵が大きすぎるよって組織全体の把握が重要だと伝えたのだ

騙したんですか
いいやニードル・・・お前の妻にはあらかじめ伝えている

お前が脚を怪我したのは好都合だったよ助けに行かれても困るからな

クズ野郎！

まあ待て落ち着くんだ

私も鬼ではない…重要な情報が手に入れば応援を送るつもりだ

ラァ…くぅ…

ハァ

ハァ

辛いのはわかる…しかし今は情報収集に徹するのだ…彼女もその覚悟ができてるはずだ

諦めろ…

ハァ

ハァ

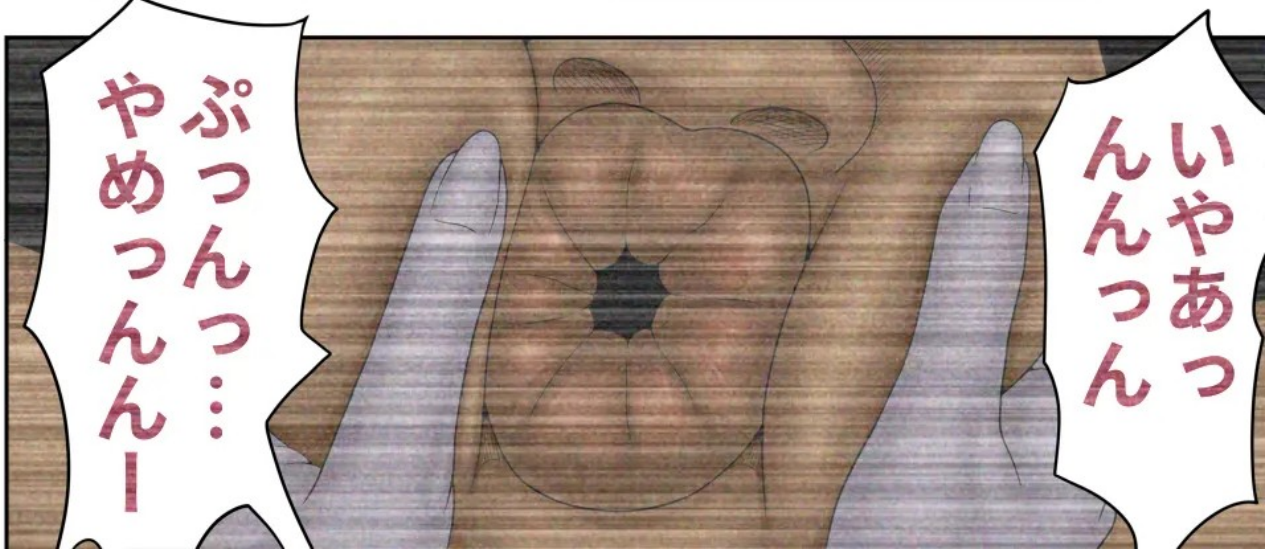
ハァ

ハァ

これが我々の仕事だ

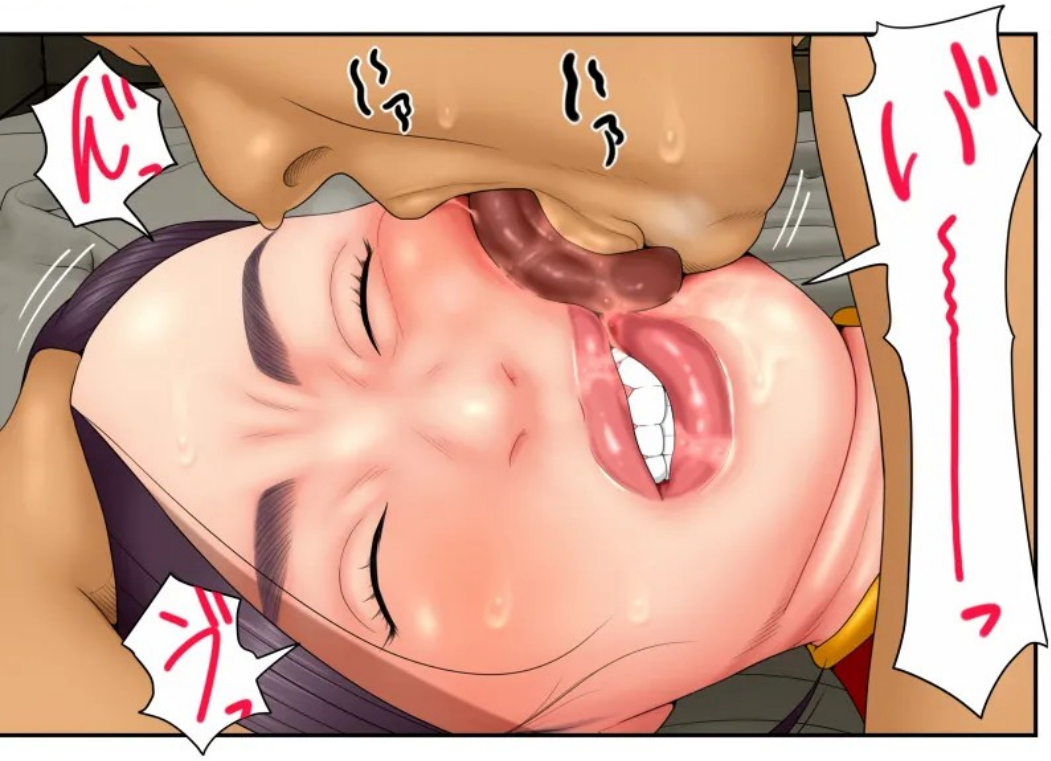
僕…ファビオよろしくね

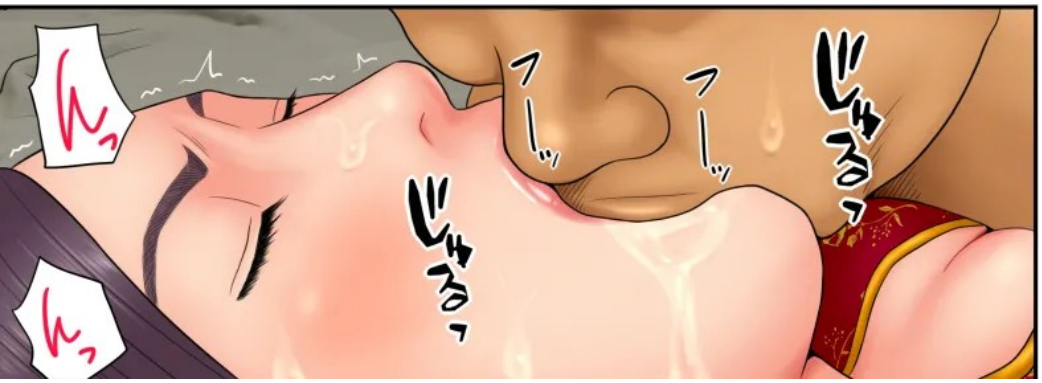
いつかはこうなると
覚悟はしていたが…



これがスパイの妻を
持つということなのか…

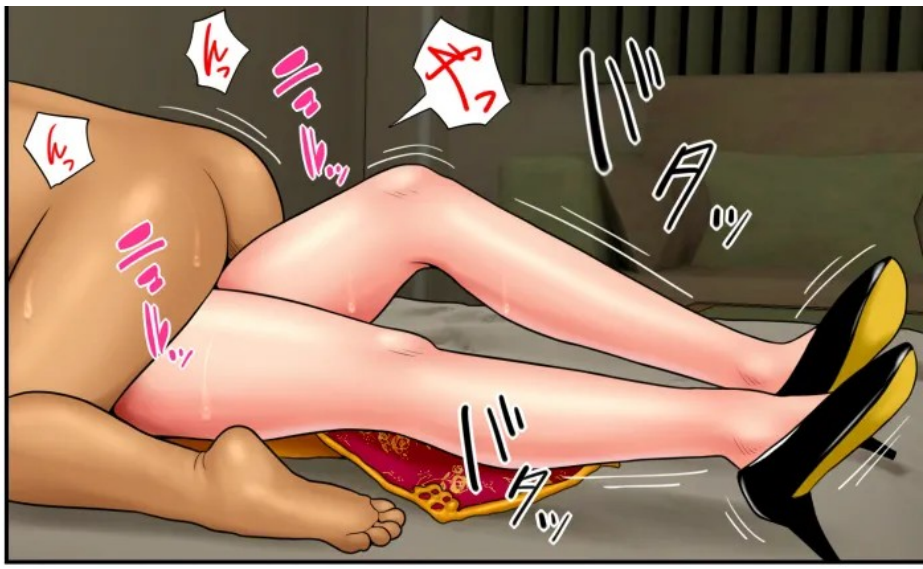
ぐっ
んんっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ぐっ


ぐっ
ぶぁ
ぶぁ
ぶーーーっ
ぶっ

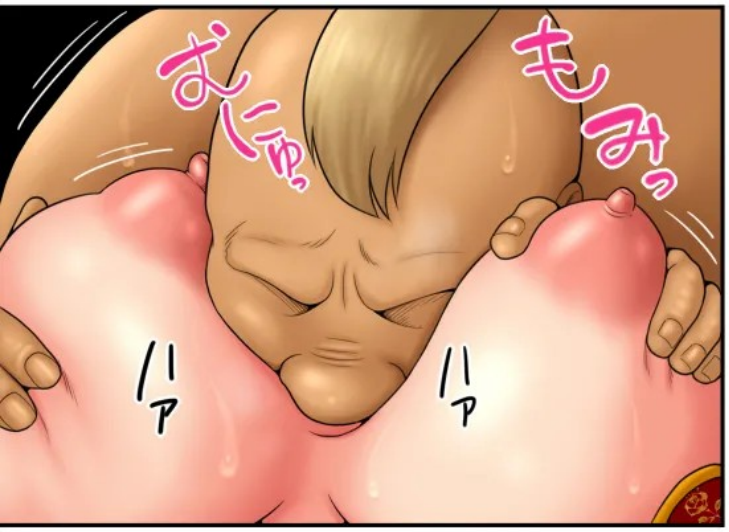

んっ
ふーっ
ふーっ
じゅるっ
じゅるっ
んっ

じゅるるっぐっ
じゅるっんんっ
いやあ
ぐちゅぐちゅ

ぬるっ
ぬるっ
フー
フー
うっ
んっ


やっ
んっ
んっ
ニュルッ
ニュルッ
バタッ
バタッ

セックスの訓練も当然してるんだ…
フフ…

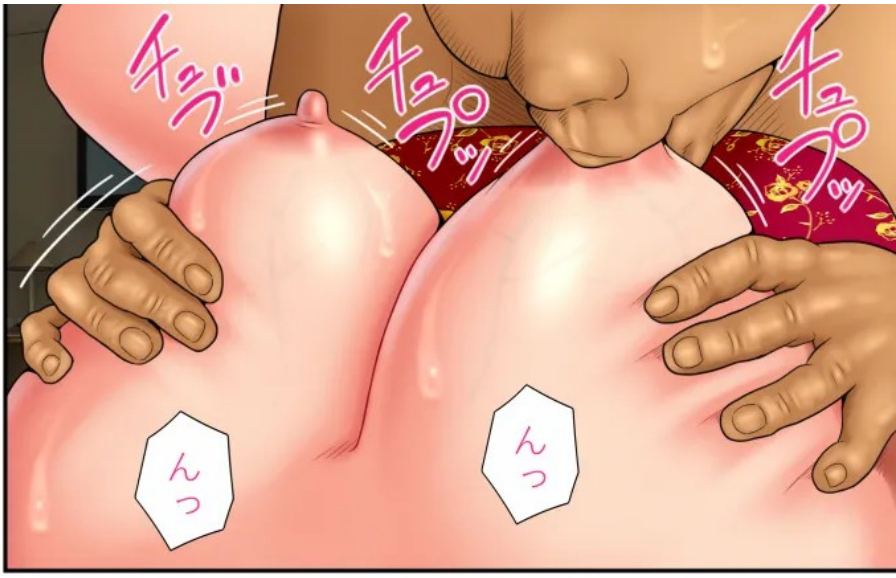

もみっ
むにゅっ
ハァ
ハァ

ぬりゅっ
ぬりゅっ

ぎっ
ぎぎっ…
ハァ
ハァ
まだ気絶しないなんて本当に信じられない…
たぷっ
たぷっ
こうなる事も想定して訓練してるんだね
ニュルッ
ニュルッ

チュパッ
ズッ
チュパッ
チュパッ
くっ…
んんっ
おっぱい
チュパッ
チュパ
んんっ…ハァ
じゅる
ハァ
ハァ
ハァ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
ぬりゅっ
チュパッ
チュパッ
ニ…ニードル意識がなくなる前にできるだけ情報を聞き出すんだ…

Second row of monitors
頑張れ律子…
お前はプロだ
お前ならできる！


チュプッ
チュプッ
チュプッ
んっ
んっ

む…息子を置いて
逃げるなんて
酷い親ね…
本当に可哀想
レロォ
レロ…
ハァ
ハァ

ああ見えて
臆病なんだよ
ベロ…
ベロ…

護衛の一人と
連絡が取れなく
なった途端に
ヘリで帰った
家は遠いの？

そんなに遠くじゃないよ
ハァ ハァ
しゅ… しゅぅ

ヘリポートがある建物で近場か…
いいぞ…もっと聞き出せ

どんなおうちに住んでるの？
パブッ パブッ
そ…それは言えないよパパと一緒に住んでるし…

じゅるっ じゅるるっ
で…でも

ファビオ君…あなたのことともっと知りたいの
ハァ ハァ

ねえ…もっと好きな事していいのよ
舐めるのもいいけどホラもっと…

その手には乗るもんか…

パパに言われたんだ

美人局（スパイ）には気を付けろって…

うっ

うううっ

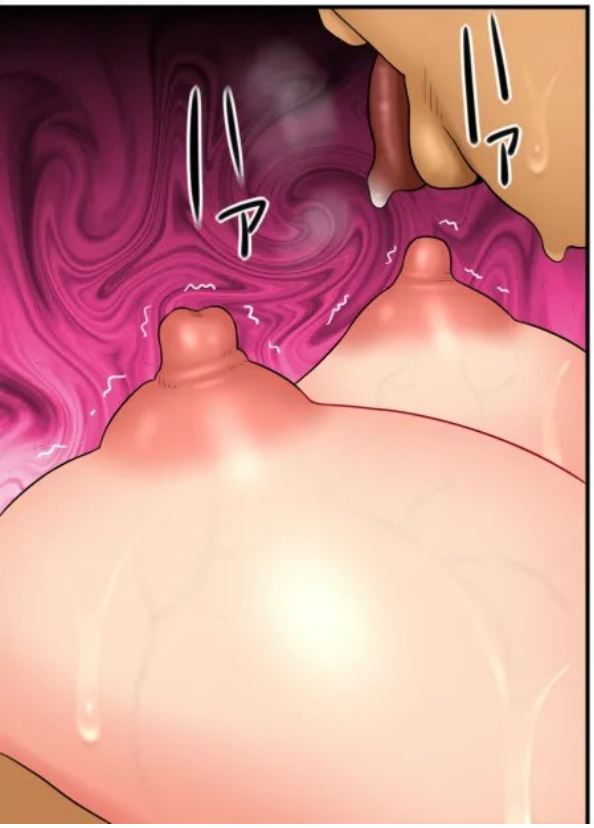
ぞくぞくぞく

くそ……
そんなに…締め付けるなよぉ！
ギッチュッ
ギッチュッ
ううう…
ああっ…あ～…
うっ
うっ
どうしようパパ この女…… 気持ちよすぎる
んっ
んっ
ブッ
ブッ
ブッ
ブッ
あーーっ
あーーっ
ハァ
ハァ
ギュポッ
ギュポッ

ハァ
ハァ

気持ちいっ…気持ちいいよぉ
すっすごい……し…締め付け…

その調子だ骨抜きにしろ！


ハァ
ハァ

こんな凄い身体は初めて…
うっ
あっ
あっ
ハァ
ハァ
ハァ

やばい……

チュバッ

チュバッ

チュパッ

このままじゃ本当に溺れる

うっ

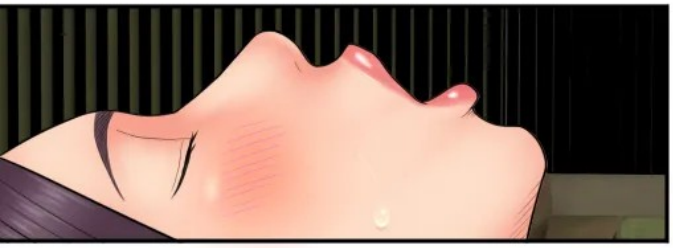
んっ

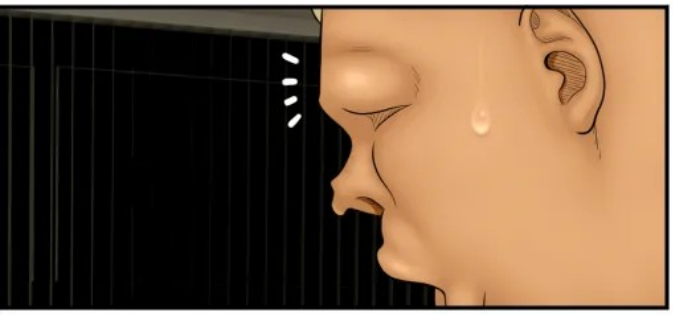
な…名前は？
律子
ぬりゅっ
ぬりゅっ
彼氏いる？
旦那がいるわ
ちゅっ
ちゅぱっ
スパイって給料いいの？
レロ
レロ
ぶりっ
ぶりっ
人にもよるわ私達は眺めのいい場所に住めるくらいは貰ってる
タワマン？俺もだよ周りが山しかなくて寂しいけどね
ズリッ
ズリッ
ぶちゅ
ぶちゅ
よくやった！これで場所がしぼれるぞっその調子だ！

まずいな
意識が……

流石だな
ニードル

て…





きっ気絶しました
応援の許可を！
慌てるな
しばらく様子を
見るんだ

ぬち…っ
も、もっと
律子のこと
知りたい
ぬち…っ
ハァ
ハァ
ぬち…っ
ぬち…っ
……じゃあ
ファビオ君の事も
もっと教…え…

やばいな…
ペラペラ
喋っちゃった

でもなんでだろう
聞かれてもないのに
自分のことを喋って
しまった……

もっと話がしたい？
いや…この女の事を
もっと知りたいと
思ったんだ

ハァ
ハァ
レロ
レロ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

律子っ
律子っ
レロ
レロ

僕は律子の事が好きになったのかもしれない

ああ～可愛い…お人形さんみたいだ…
ハァ
ハァ
レロ
レロォ

チュプッ
チュプッ

ムニ
ムニ

ダラ〜

ぢゅ
ぢゅ

ブチュッ
じゅるっ

ハァ
ぢゅぉ
ぢゅぉ
美味すぎ…
ハァ
ハァ

じゅるるっうま、
ハァハァ…たまんない
レロレロ…律子お

ああ～…
全身が
気持ちい…

ズリッ
ズリッ
ズリッ
チュパッ
レロッ

ハァ
ハァ

ベロォ
ベロ…

ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ

んまっ
んまっ

あっ…
ああっ

パパ…やばいよ
今までパパから
もらった どの女より
ずっと気持ちいんだ…

パフッ
パフッ
ハァ
ハァ
レロ…
レロ…
んっ
んっ

ハァ
ハァ
溺れる…
ズッ
ズッ

律子ッ
あー
あー
律子ぉ
ビクッ
ビクッ

どうしよう……

パパにはスパイはたとえどんなにいい女でも殺せって言われてる

ごめんパパ……

あっ

あっ…

あっ

う…

ズッチュブッ

ズッチュブッ

グチュッ

グチュッ

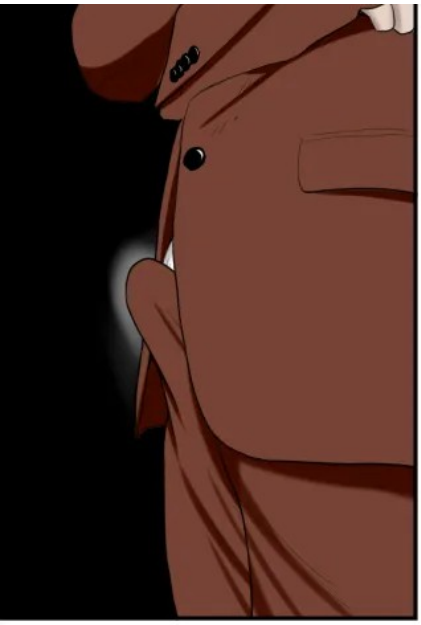
僕には無理だよ

ああっ…
あっ
ぬち…っ
ぬち…っ
ハァ
ハァ
本当にどうしようパパの手に渡ったら手籠めにされるのがオチだ
ぜっ絶対に手放したくないっりっ律子は僕のものだ…っ
ドク…
ドク…
ドク…

うっ

ドプッ
ゴプッ

あ〜
出るっ
出る出る
出る
Second row of monitors



旦那(ビショップ)に普段から
『特訓』してるなんて
知られたら……
俺は間違いなく
殺されるだろうな

つづく